

第27回日本母性看護学会学術集会 優秀演題賞

O-06	中村康香 山形県立保健医療大学
	0歳児を持つ親における妊娠期コペアレンティング促進プログラムの親役割適応と子どもの成長発達への効果
授賞者コメント	この度は賞をいただき、大変光栄に存じます。 本研究の遂行には大変多くの方々のご協力、ご尽力、励ましがあったからこそであり、研究に協力していただいたすべての皆様に感謝申し上げます。この受賞を励みに、今後も研究に邁進し、社会実装に向け貢献できるよう一層努力してまいります。本当にありがとうございました。

P-05	東出恵子 恵愛みらいクリニック
	麻酔分娩した初産婦が辿る出産への恐怖感の変容過程
授賞者コメント	このたび、第27回日本母性看護学会学術集会 優秀演題賞という栄誉ある賞を賜りまして大変光栄に存じます。 日々の業務の中で「お産が怖いから麻酔分娩にしたい」と相談を受けることが多く、今回の研究演題に結びつきました。研究の成果を受け、これまで以上に麻酔分娩を選択する女性の「出産への恐怖感」を理解しつつ支援を行い、より良い看護実践につながるよう研究活動を更に続けていきたいと思います。本研究にご協力下さいました皆様と、ご選出いただきました先生方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

O-05	岩崎順子 高知県立大学看護学部
	妊娠期家族へのFamily confidenceを高めていく遠隔看護実践
授賞者コメント	このたびは、優秀演題賞にご選出賜り、心より御礼申し上げます。 本研究は、出産を控え、これから育児という大きなライフイベントに直面する妊娠期のご家族に対し、ご家族が本来有している力である〔Family Confidence〕に着目し、それを引き出し、育むための看護実践のあり方を探究したものです。子育てに関する不安や負担感が増大する現代社会において、家族の強みに焦点を当て、遠隔看護を含む柔軟かつ継続的な支援を提供する視点は、育児支援における重要な役割を担うものと考えております。 本研究の遂行にあたり、貴重なお時間をさいてご協力くださいましたご家族の皆様に、心より感謝申し上げます。今後も、実践科学としての看護におけるエビデンスの構築に微力ながら貢献すべく、研究活動に真摯に取り組んでまいります。